

前回会合における質問事項への回答 (日本放送協会)

公共放送WG事務局

令和4年12月22日

(大谷構成員)

- NHKのインターネット活用業務について、将来的には、多元性の確保などへの配慮を行った上で、本来やるべき業務として位置付けられるべきではないかと考えるが、任意業務か必須業務かという一律の分け方ではなく「公共放送としてのあるべき姿をどのようにデザインされているか」をNHKさんの言葉で語っていただきたい。

(落合構成員)

- 「何が公共放送として求められる役割なのか」をしっかりと定義していくことが議論の出発点として重要。英国やドイツでの議論を踏まえた場合に、NHKとして「日本においてはどのようなものが公的な性質を持った役割と考えているか」について、お伺いしたい。

(答)

第3回会合におけるご説明のとおり、NHKには「情報空間の参照点の提供」「多元性の確保への貢献」が求められていると考えており（資料3-1 67ページ）、現在の放送と同様の範囲・効用のあるものについては、提供の態様が異なってもNHKとして役割を果たしていくことが出来るものと考えます。

第1回会合の事務局説明（資料1-3 18ページ）のとおり、NHKは幅広い役割を担っていると考えておりますが、その中でも特に強化すべき項目は、修正経営計画（案）で示したとおり、“安全・安心を支える”“あまねく伝える”の2点であると考えております。

いずれにいたしましても、視聴者・国民の皆様のご理解を得ることが大前提であり、本WGにおける議論が深まり、情報空間全体の中で、NHKが引き続き視聴者・国民の期待に適切に応えられることを期待しております。

(落合構成員)

- 二元体制もしくは新聞なども含めた多元的な言論を考えていく際には、少なくとも競争環境自体を理解することが重要。今のNHKと民放・新聞との間でのネット業務に関する競争環境について、NHKとして、どのように認識しているか。特に、ネットのオリジナルコンテンツについて、(民放連からは制作・配信しないことが最低限必要との考えが示されているが)これを制作・配信することが、民放や新聞との競争上どのような影響をもたらさうと考えられるか、お伺いしたい。

(答)

(前のご質問への回答のとおり、)基本は現在の放送と同様の範囲・効用のあるものについては提供の態様が異なってもNHKとして役割を果たしていくことが出来るものと考えます。また、「情報空間の参照点の提供」と同時に「多元性の確保への貢献」が期待されており、NHKが新聞や民間放送事業者と競い合うことで、相互の信頼性を高め、情報の多元性に寄与することができると認識しております。そのため、新聞や民間放送事業者と適切にクオリティで競い合える環境を創り出していくことが重要と考えます。

何をもってオリジナルのコンテンツとするかは一意に定まりにくいものと考えますが、「多元性の確保」がなされることは大前提と考えており、規律の在り方を検討する上では、競争上の悪影響が生じないよう整理を行っていく必要があるものと考えております。

いずれにいたしましても、視聴者・国民の皆様のご理解を得ることが大前提であり、本WGにおける議論が深まり、情報空間全体の中で、NHKが引き続き視聴者・国民の期待に適切に応えられることを期待しております。

<会合後の追加質問>

(事務局)

- (宍戸構成員、林構成員、大谷構成員から、競争環境を把握に資するデータの提供についてご質問・ご意見があったが、) 今後のワーキンググループにおいて、公正競争確保の必要性に関する議論などを建設的に進めるため、NHKの業務に関する情報の提供について、NHKとしてご協力いただけるか。

(宍戸構成員)

NHKのネット利用が民間事業者の経営を非常に圧迫化するという事は、もちろんそういう因果関係はあり得ると思っておりますし、現実にもそういう部分があると思っておりますが、業界構造やプラットフォーマーの行動とかいろいろな要素がある中で、NHKの業務拡大、あるいはNHKの存在がどれだけの影響をもたらすと考えることについて、何らかのエビデンス、あるいは、何か調査のようなものが、個社であれ、あるいは、それぞれ業界団体としてであれ、お持ちであれば出していただきたいと思います。

もちろん、それはなかなかないということなのであれば、例えばNHK自身にどういう情報を調査して出させるかとか、政府がこういった点をこういう形で調査すべきでないかといったような点もいただければと思います。これが1点目でございます。

(林構成員)

放送を含む言論市場と放送に関わる取引市場とに大別した上で、放送に関わる取引市場については、今後は番組調達市場や広告市場といったさまざまな市場ごとに、データに基づいて、具体的なエビデンスベースでの検討が必要だと思っております。

(大谷構成員)

予算規模におけるインパクトが、御説明いただいて分かりやすかったのですが、実際に、新聞各社のデジタル事業におけるビューとかユニークブラウザ数といった視聴動向を確認するような情報と、それからNHKが公開されている同様の情報との差をどのように分析されているのか、教えていただければと思います。

(答)

NHKとしても本WGにおける議論が深まることを期待しており、議論に必要な情報については、可能な限りご協力をさせていただく考えです。